

みずほCustomer Desk Report 2019/06/04号(As of 2019/06/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	108.34
TKY 9:00AM	108.23	1.1173	120.93	1.2640	0.6928		
SYD-NY High	108.44	1.1262	121.66	1.2674	0.6983		
SYD-NY Low	107.89	1.1159	120.80	1.2611	0.6928		
NY 5:00 PM	108.07	1.1241	121.49	1.2665	0.6976		
NY DOW	24,819.78	4.74	日本2年債	-0.1800	0.00bp		
NASDAQ	7,333.02	▲ 120.13	日本10年債	-0.0900	1.00bp		
S&P	2,744.45	▲ 7.61	米国2年債	1.8377	▲ 8.54bp		
日経平均	20,410.88	▲ 190.31	米国5年債	1.8395	▲ 7.56bp		
TOPIX	1,498.96	▲ 13.32	米国10年債	2.0737	▲ 5.87bp		
シカゴ日経先物	20,465	40	独10年債	-0.2020	0.20bp		
ロンドンFT	7,184.80	23.09	英10年債	0.8610	▲ 2.50bp		
DAX	11,792.81	65.97	豪10年債	1.4935	2.00bp		
ハンセン指数	26,893.86	▲ 7.23	USDJPY 1M Vol	7.35	0.43%		
上海総合	2,890.08	▲ 8.62	USDJPY 3M Vol	7.01	0.21%		
NY金	1,327.90	16.80	USDJPY 6M Vol	7.19	0.16%		
WTI	53.25	▲ 0.25	USDJPY 1M 25RR	-1.90	Yen Call Over		
CRB指数	174.72	▲ 0.65	EURJPY 3M Vol	7.38	0.22%		
ドルインデックス	97.14	▲ 0.61	EURJPY 6M Vol	7.69	0.18%		

東京	東京時間、108.23レベルで取引を開始したドル円は公示値の発表にかけて108.32円まで上昇。その後、日経平均株価が下落幅を拡大させる中、ドル円は108.15円まで下落するも、Caixin中国製造業PMIが予想50.0に対して結果50.2となったことから108.26円まで小幅に反発。しかしドル円はじりじりと値を下げる展開となり、108.07円まで下落。その後、108.27レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は108.27レベルでオープン。特に新しい材料が出ない中で値幅は限られ108.15-39円で推移し108.37レベルでNYに渡った。ポンド円は1.2634レベルでオープン。LDN朝方は米長期金利の低下に伴うドル売りで1.2659まで買われる場面もあったが、次期英首相選挙で本命と目されるジョンソン前外相が「合意なくとも10月にEU離脱」する方針を表明するとポンドは弱含む。結局1.2611まで下落し1.2616レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は米中貿易戦争の長期化懸念が燻る中、日本株の下落を横目に一時108.07まで下落。その後、日本株が下落幅を縮小し、108.39まで買戻される局面もあったが、米10年債利回りの低下に上値を抑えられ、108.37レベルでNYオープン。NY朝方は108.43まで上昇するが、米国の5月製造業PMI(改定値)が予想を下回ったほか、10時発表の5月ISM製造業景況指数や4月建設支出が予想を下回ったことからドル売りが強まり、一時108.20まで下落。その後、ダウ平均株価の堅調推移にサポートされ、108.44まで上昇するが、NY午後にかけてダウ平均株価がマイナス圏に沈むと108.25円まで反落。またブレード・セントルイス連銀総裁の「インフレ押し上げのため、近く利下げが適切になる可能性がある」との発言に米利下げ懸念が強まるドル売りが加速し、108.00を下抜け、1月10日以来の安値107.89円をつける。NY終盤は米金利の低下が一服し、ダウ平均株価が持ち直したことから、ドルが買戻され、108.07レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、イギリス脱欧の5月製造業PMI確報値が発表されたが、速報値と変わらなかったことから反応は薄く、1.1180近辺の狭いレンジで推移し、1.1181レベルでNYオープン。NY朝方は発表された米経済指標が予想よりも弱い内容だったことからドル売りが強まり、高値1.1262まで上昇する。買い一巡後、1.1240近辺で小動きとなり、結局、1.1241レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:高根・田家

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月3日	16:55	独	マーケット製造業PMI・確報	5月 44.3 44.3
	22:45	米	マーケット製造業PMI・確報	5月 50.5 50.6
	23:00	米	ISM製造業景況指数	5月 52.1 53
	23:00	米	建設支出(前月比)	4月 0.0% 0.4%
6月4日	02:25	米	ブレード・セントルイス連銀総裁 講演 「インフレ押し上げのため、近く利下げが適切になる可能性がある」	

市場営業部 為替営業第二チーム

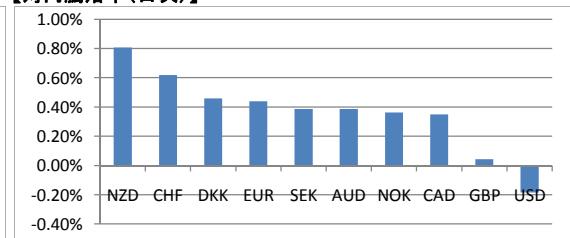
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月4日	10:30	豪	小売売上高(前月比)	4月 0.2% 0.3%
	13:30	豪	RBAキャッシュレート	- 1.3% 1.5%
	17:30	英	マーケット建設業PMI	5月 50.6 50.5
	18:00	欧	失業率	4月 7.7% 7.7%
	18:00	欧	コアCPI/CPI(前年比)	5月 0.9%/1.3% 1.3%/1.7%
	22:55	米	パウエルFRB議長 講演	- - -
	23:00	米	製造業受注(前月比)	4月 -1.0% 1.9%
	04:45	米	ブレインードECB理事 講演	- - -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-108.50	1.1100-1.1280	120.00-122.00

【マーケット・インプレッション】

6月3日のドル円は、貿易戦争激化の懸念継続によるリスクオフムードで、上値の重い展開が継続。東京時間、日経平均株価が続落したことにつられてドル円は下落し、108円台前半にて推移。海外時間には、発表された5月ISM製造業指標が市場予想比下回り、米経済の先行き懸念につながった。また、セントルイス連銀のブレード総裁の「米利下げは近く正当化される可能性がある」とのコメントを受けてドル円は下落した。そのため、海外時間に安値107.89をつけた。本日の見通しとしては、ドル円は上値重い推移となりそう。貿易戦争への懸念や米経済指標結果を受けた経済先行き懸念によりリスクオフムードが継続するだろう。